

TOPICS & INFORMATION

鳥取県伯耆町ー地域交流ー羽曳が丘 E&L 新しい発想の地域間交流活動を



平成18年、大阪府からの紹介で鳥取県の市町村長15名の方々が羽曳が丘の見学にこられました。その後、E&Lの有志メンバーは大山伯耆町での交流行事や、ブナの植林などに参加しました。昨年11月のピオトープフェスタでは、伯耆町の民間と行政職員5人の方々が地元の特産品を出店販売しました。伯耆町の人口は1万人で羽曳が丘の人口とほぼ同じです。伯耆町は大山の自然環境を背景に住民と行政が一体になっていると思います。自然環境保全・地場産業・観光などを視点にコンパクトなまちづくりを実践していると思いました。羽曳が丘に魅力あるまちづくり拠点をつくることと、今までにない新しい地域間交流を実現したいと思いました。

今回のピオトープフェスタでは、伯耆町から米・地ビール・お酒・焼肉・白ねぎ・味噌・梨・ポン菓子などの現地調理などバージョンアップした伯耆町特産物が販売されます。(ピオトープC 宮本)

昨年の10月のことです。河内長野からお兄ちゃんのサッカーの応援に来ていた小学生4人がピオトープへやってきました。E&Lのスタッフと仲良くなって草刈を始めました。

「小学生からおばちゃんへのメッセージ」
「草をかっていると人のためだと思つてとてもきもちがよいなあと思いました。草をかっていると新しいゆめができました。それまでゆめはありませんでした。けれどしぜんをあいつるやさしい心をもっている人にめぐりあえてとてもうれしかったです。たくましくおもいました。あえてうれしかったです。わたしのゆめは人のためにつくしたいです」
子どもが書いてくれたメッセージです！子どもたちのために魅力あるピオトープをつくりたいです。(ピオトープC 久馬)

私の夢は人のためにつくしたいです。 ピオトープで子どもたちは本気でました！



羽曳小3年生児童の陶芸教室・110作品 ピオトープフェスタで展示します



1月30日、羽曳が丘小学校3年生110名対象の陶芸教室を実施しました。今回は第2回目の陶芸教室であったことから、主役スタッフは担任教員が、陶芸指導は陶芸会の方々が行い、E&Lのスタッフはお手伝いでした。児童たちは事前に陶芸作品の作図をして、皿・花瓶・動物・ロボット・恐竜など多様な作品に取組みました。児童たちの個性豊かな多様な作品が出来上がりました。そして、教員とスタッフの方々のきめ細かい指導と作業には敬服です。陶芸の加藤先生と教員の方々の陶芸作品の乾燥・素焼・釉薬塗り・本焼などの作業ご苦労様でした。E&Lからは頑張った児童たちへ、ピオトープの生物と羽曳が丘航空写真の「カラーしたじき」をプレゼントします。児童たちの110作品は次回ピオトープフェスタで展示します。(ピオトープクラブ 松本)

羽曳が丘小学校3年生児童の皆さんへ 3月21日(土)午後12時より、ピオトープフェスタ会場でお渡ししますので取りにきて下さい。・・・皆さんへ「カラーしたじき」をプレゼントします。

2月17日、大阪府健康福祉部主催のフォーラムがキャンパスポート大阪にて開催され、市民団体・行政関係約100名の参加となりました。E&Lは西田理事と宮本理事が参加し、昭和40年代から町会連合会組織を基盤として、地域団体が連携型から重層型へ進展した羽曳が丘のまちづくりを説明しました。羽曳が丘の地域活動は、直面した数々の地域課題を積み重ねて実践したことと、今回の見守りネットワーク構想も直面している地域課題であることを説明しました。大阪府社会福祉協議会の奈良部長からは、「E&Lは地域ニーズを発掘して事業計画の立案-実行が高い質で継続している」。大阪NPOセンターの山田理事は「複数事業を実施しての収支バランスの重要性」を提言されました。交流会ではE&Lの複数事業継続の要点を質問されました。私は実働スタッフの人たちが地域貢献理念を共有して、地道に継続している活動事例を説明しました。(管理部西田)

社会起業家フォーラム大阪2009開催 E&Lスタッフの地域貢献理念の共有



羽曳が丘見守りネットワーク構想プログラム

自分の身体を知って 健康な毎日を過ごしましょう

測定会&健康相談会

あなたの(測定)結果をその場でお伝えします

子どもさんから大人まで参加して下さい

人形を使った乳がん自己検診です

体脂肪

骨密度

乳がん

健康相談

握力

測定時には裸足になって下さい

大阪府立大学 看護学部

看護学部の学生がします

タバコについて考えてみませんか？

子どもやその親御さんに知ってもらいます

受付

タバコについての人形劇

第7回 ピオトープフェスタ会場
3月21日(土) 10:00~15:30
大阪府立大学 看護学部 地域看護学分野

羽曳が丘見守りネットワーク構想図

本事業は「独立行政法人福祉医療機構」の助成金事業に申請します。

